



カスタム検索

検索

▶ ページの探し方 ▶ カテゴリーから探す ▶ 府庁の組織から探す

文字サイズ: 縮小 標準 拡大

トップ

くらし・住まい
まちづくり人権・男女
共同参画福祉・
子育て教育・学校・
青少年

健康・医療

商工・労働

環境・
リサイクル農林・
水産業都市魅力・
観光・文化都市計画・
都市整備防災・安全・
危機管理府政運営・
市町村

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [特色のある「教育コミュニティづくり」の取組み](#) > 「学校支援地域本部」訪問記録 細河中学校区教育コミュニティづくり推進委員会

「学校支援地域本部」訪問記録 細河中学校区教育コミュニティづくり推進委員会

更新日:平成22年11月17日

「学校支援地域本部」訪問として、池田市立細河中学校区教育コミュニティづくり推進委員会を訪問しました。

1. 日 時

平成22年10月29日(金曜日) 午後3時から4時30分

2. 訪 問 校

池田市立細河小学校

3. 訪 問 者

市町村教育室地域教育振興課 太田課長、石井主任社会教育主事、木村副主査

4. 対 応 者

池田市教育委員会 今川教育部次長兼教育政策課長、三島指導主事(教育政策課)

細河小学校 西村校長、池田北高校 明石首席

5. 内 容・特記事項

放課後学習で高校生が小学生を指導

- ・細河小学校では、放課後に補充の時間を確保することで一層の基礎学力の定着を図ることを目的に、毎週月曜日、金曜日の放課後に「細河っ子タイム」を実施
- ・「細河っ子タイム」では、ドリルや本読み、学校が用意したプリント等を教材として学習
- ・訪問時は2年生、5年生、6年生の活動の様子を参観
- ・2年生は、教員と大学生2名が指導
- ・大学生1名は、大阪大学志水研究室に在籍の学生、1名は昨年高校在学時指導に来ていた学生
- ・5、6年生は教員と大学生2名に加え高校生(府立池田高校)3名が指導
- ・高校生は、平成21年度に「細河っ子タイム」を開始した際に大学生の指導者が十分に集まらなかったため、近隣の池田北高校に相談
- ・池田北高校とは、創立以来さまざまな活動で連携していたが、特に小、中、高が連携した「フレンドリーコンサート」を通しての継続した連携関係があった
- ・池田北高校では、進路指導部の明石首席が窓口になり、進路の決まった3年生に声をかけ、3名が応じた
- ・その後、「細河っ子タイム」以外のクラブ活動等にも多くの生徒が参加するようになった
- ・今年度も依頼したところ、部活動との兼ね合いがあり、高校生の参加が難しかったが、3名が参加
- ・3名に参加した感想を聞くと、当初は戸惑いもあったが、小学生がなついてくれて、楽しくなってきたという答があった
- ・小学生のための学習支援とともに、高校生にとってもやりがいにつながるなど、双方にとって意義のある活動。



名札と赤ペンを持つことによって、意識を持つ



2年生の本読みを聞く大学生ボランティア



熱心に学習する児童と指導する高校生



高校生ボランティアによる丸つけ



芝生の維持管理にも地域の方が活躍

6. 校長先生から「細河っ子タイム」についての説明

池田市立細河小学校 校長 西村 章

子どもたちの放課後学習で地元の高校生が学習支援

細河っ子タイム

細河小学校では、月曜日と金曜日の放課後を活用し、学力補充の時間として「細河っ子タイム」を設定し、取り組んでいます。

「細河っ子タイム」には、先生方のほかに、金曜日には、大学生や地元の池田北高校の生徒たちにも協力を得て、クラスごとに個別の子どもたちに関わってもらっています。池田北高校とは、1987年より、小・中、高が連携した音楽交流「フレンドリーコンサート」の取組みを通して校種間を越えた連携を継続的に行っています。そのような連携もあり、昨年度より進路が決まった3年生の生徒が小学校に学習支援ボランティアとして関わるようになりました。

「細河っ子タイム」の取組みは、子どもたちの学習意欲の向上と一層の基礎学力の定着を図るとともに、校種間を越えた縦のつながりの中から子どもたちが豊かなコミュニケーション力を育ててくれることを願い実施しています。

子どもたちの様子を見ていますと、高校生がプリントをしている子どもの横に寄り添い温かく見守り、また、子どもは、その横でアドバイスを聞きながらいっしょけんめいに取り組んでいました。その光景を見てみると、「学ぶこと」「教えること」の大切さ、また、コミュニケーション力が豊かな人間関係を創り上げていくことを改めて感じさせられました。

細河小学校では、子どもの学力向上で大切なこととして、セルフコントロール(いろいろな場面で自分を調整したり制御したりすること)と適応力(いろいろなシステムに対して懸命に取り組む姿勢)と捉え、また、自分自身を肯定的にとらえる自尊感情(セルフエスティーム)を高めていくことも大切だと考えています。

このような校種間を越えた取組みを通して、さらに学習に自信を持つことはもちろん、人を思いやったり、友だちを大切にできる心が大きく育ち、さらに学校が子どもにとってさまざまなことを学ぶ温かい居場所になってほしいと思います。

[ページ先頭に戻る](#)

このページの作成所属
[教育庁 市町村教育室地域教育振興課 地域連携グループ](#)

[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[お問い合わせ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府

(法人番号 4000020270008)

本庁

〒540-8570

大阪市中央区大手前2丁目

(代表電話)06-6941-0351

咲洲庁舎

〒559-8555

大阪市住之江区南港北1-14-16

(代表電話)06-6941-0351

[大阪府庁への行き方▶](#)

© Copyright 2003-2017 Osaka Prefecture, All rights reserved.